

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2017

7月号
vol.612

月刊

同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

新会員座談会
新会員の姿が同友会を動かす



21世紀型
自立型
企業づくり

初めて入院して会社の将来を考えた
芹口 健二 氏 [有限会社 珈琲豆屋]

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすと



AR動画が見られます!

ARアプリ「COCOAR2」のダウンロード方法は
P2をご覧ください

福岡県知事

小川 洋 氏

福岡県中小企業家同友会におかれましては、「自主・民主・連帯」の精神で自立的で質の高い企業づくりを目指し、中小企業経営者の皆さまが学び合う異業種交流の会として、本県中小企業の振興や地域経済の発展に多大な貢献をいただいています。役員ならびに会員の皆さまのご尽力に、心から敬意を表すとともに、深く感謝申し上げます。

これまで人口が増え続けてきた本県も少子高齢化がさらに進展し、人口減少社会に突入することが予測される中、「地方創生」が大きな課題となっています。この課題の解決に向けては、県内雇用の8割を担い、県経済の発展と活力の原動力である中小企業の皆さまにもっとも元氣になっていただき、各地域に魅力ある雇用の場を一つでも多くつくっていくことが重要です。

本県では、「中小企業振興条例」(平成27年10月制定)と「中小企業振興基本計画」(平成28年3月策定)に基づき、企業の成長段階や事業環境に応じ、中小企業一社一社に対してきめ細かな支援に取り組んでいるところです。特に、県内各地域における創業をさらに促進するため、今年度からは県と県信用保証協会が連携し、新規創業者が創業に必要な借入れを行う際の保証料負担をゼロにするとともに、融資利率も大幅に引き下げたところです。

引き続き、県内中小企業の皆さまの多様で活力ある成長・発展を支援してまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



中小企業の元氣が 地域創生へと つながる架け橋

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

月刊同友7月号 自立型企業づくり
はみだししレポート

東支部 GolGolブロック長
有限会社 名島パッケージ
代表取締役 合原 龍馬(東支部)

芹口さんとの出会いは6年前。私が入会した時に同じブロックになりました。同友会に入会する前から「Nanの木」さんは知っていましたが、まさか芹口さんが経営しているお店とは思いませんでした。お店と芹口さんのイメージとは全く違ったんで…(笑)。最初のイメージは「ちょっと怖い、話かけにくい」。それから私も東支部に慣れてきて、芹口さんとも会話が増えるようになってきました。気さくな方で、好かれようとか嫌われたくないとか全く思わないで、自分の芯を持っている方です。

私がブロック長の役を受けることになり、いの一歩に芹口さんに副ブロック長をお願いしたところ、快諾していただきました。私にとって力強い心の支えです。そして、いまや芹口さんはGo!Go!ブロックのオヤジ的な存在です!

去年の7月例会では、私のたつての希望で芹口さんに報告者になってもらいました。お客様目線の話や社員教育など、狙い通り芹口

節炸裂でした。そして出席者全員で、おいしい珈琲をいただきました。ブロック会等で「自分はこう思うけどみんなはどう思う?」などと、皆さんと積極的に意見交換しています。そしていつもママにメモを取っています。



有限会社 珈琲豆屋
代表取締役 芹口 健二 氏
(東支部) 本誌p8 掲載

【今月の表紙】 博多の街を駆け巡る博多祇園山笠

撮影：富谷 正弘 (株)ココスイメージ(玄海支部)



博多祇園山笠の起源には諸説がありますが、博多祇園山笠振興会は、一般に広く知られている聖一國師が仁治二年(1241年)、疫病除去のため施餓鬼棚に乗って祈水(甘露水)をまいたのが始まりという説を取っています。当時は神仏混淆の時代。これが災厄除去の祇園信仰と結びついて山笠神事として発展したといわれています。7月15日午前4時59分、大太鼓の合図とともに一番山笠から順に「櫛田入り」し、清道旗を回ったところで、いったん止まり、「祝いめでたーのー」と七流を代表して「博多祝い唄」を大合唱します。再び昇り出した山笠は、夜明けの博多の街に駆けだしていきます。

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすとAR動画が見られます!

STEP 1 ARアプリ「COCOAR2」をスマホやタブレット端末にダウンロード(無料)

App Store
Google Play Store
COCOAR2 検索

STEP 2 SCAN!!

「COCOAR2」を起動し、表紙をスキャンし、読み込んでみましょう。認識すると自動でコンテンツが流れます。

面談

新会員座談会

Discussion of new members

新会員の姿が 同友会を動かす

組織の新しい風を吹き込むのは新会員さんです。新会員さんが同友会に対して何に期待し、何に不満を抱いているのかを語っていただきました。そこに会員数2500名達成のためのヒントが見いだされます。



井城 渉 (北九州支部)
セイブテクノロジーサービス(株)
代表取締役 2015年入会



金子 武史 (玄海支部)
三栄印刷(株) 取締役社長
2016年入会



佐野 典久 (田川支部)
佐野豊屋(株) 代表取締役
2016年入会



藤川 聡 (飯塚支部)
藤川自動車(株) 代表取締役
2016年入会



坂本 優 (西支部)
坂本エステート(株) 代表取締役
2016年入会

入会のきっかけ・目的は？

聞きたいと思います。

【加茂】 こんにちは。本日コーディネーターを務める加茂と申します。

福岡では2019年に会員を2500名に増やそうという方針が打ち出されました。推進本部の名称も従来の「仲間づくり」から「増強」と改められました。「増」は入会促進、「強」は同友会有効利用・退会防止を指します。今日は新会員さんとベテラン会員さんにお集まりいただき、「増」、入会促進について本音トークをしていただきたいと思っています。

実は私も入会3年目でして、どちらかというと新会員さんに近いのですが、まずは新会員のみなさんより同友会に入ったきっかけや目的をお聞かせ

【金子】 お世話になっていた社長が急死され、その後奥様が社長になり、現在は私が社長を引き継いでいます。印刷業界の営業畑を歩んできたので、社長とはどんなものだろうと悩んでいたころ「いい会があるよ」と誘われて入会しました。

【佐野】 違う団体で同友会に誘われて、「知る会」に行ったときに「こたー!」っと思っていました。私は天然の蘭草が大好きで、それを活かした畳を守りたいと考えていました。初めは熱意があればいいのかなと思いましたが、独りよがりではダメだと気づきました。いまは組織化することを学んでいます。ちなみに自社も法人化させました。

【坂本】 加茂さんから誘っていただき、入会しました。私はもともと独立志向が

あつて28歳で独立しました。いまは一人でやっていますが、いずれは会社を大きくしたいと思って勉強しています。

【井城】 自社製のドライブレコーダーが当たって業績を伸ばしました。変則的なカタチで社長を引き継いだんですが、社長業を学んで北九州で人脈を広げたいと思って入会しました。

【藤川】 車の会社を買い取って一人で始めました。お客さんに同友会の会員さんがいて誘われました。初めて行ったとき、ここにいる有田さんたちと話したんですが、経営に対してすごく熱かったですね。懇親会まで参加して私の考えていることとの違いについて語り合いました。

入会后、すぐにあすなる塾に参加して2泊3日の経営指針作成セミナーに参加し、自分なりに経営指針書を作って実践しました。そしたら銀行からの融資を受けられました。運転資金だけでなく設備資金まで。事業をやっているうちに自分一人では限界があると思っ

入ってよかったと思ってるって...

【加茂】 福岡同友会は2500名体制にしようとしています。納富さん、その件についてお話をお願いします。

【納富】 中同協(中小企業家同友会全国協議会)は、2019年に設立50周年を迎えます。そこで設立50周年を迎えるまでに全国の会員を5万名にしよう

と決議されました。福岡同友会もそれに賛同し、福岡で2500名にしよう

と高い目標を掲げました。福岡県下には会社が約22万社あり、およそ220万人が働いているといわれます。日本の99.7%が中小企業で、80%の方が中小企業で働いています。中小企業が元気になれば地域が活性化されます。若者が流出しない地域づくりができるんです。そのためには、会員数を増やして企業づくりをすすめ、「福岡県を日本一中小企業が元気なまち」にしたいのです。

【加茂】 会員を増やすには今までになかった取り組みも必要になりますね。私はベテラン会員さんが紹介者になるケースが多いと思ってはいたんですが、意外に会歴の若い会員さんが「この会、いいよ」って、紹介者になっていてという事実があるようです。では、みなさんに同友会に入ってよかったということをお話していただけますか。

【井城】 大きな案件があり、自社では無理だと思って断ろうと考えていました。ちょうど北九州で同友会と金融機関との懇談会がありました。その席でこの話をしたところ、ひびき信用金庫の支店長さんが「ウチがバックアップしましょう」といってくださったんで

【加茂】 すごく事例ですね。私も同友会の広報部にいますが、そういう成功事例をもっと会員さんに広報して情報を共有しなければならぬと感じました。

【坂本】 私の周りは起業している友人が少なく、経営者の人と話をするチャンスが少ないんですが、同友会は経営者の集まりですから、いろんな話ができます。1年目だからって遠慮もありませんし。

【加茂】 私の所属している西支部も本音で意見を聞かせています。時にはケンカ腰にね(笑)。うわべだけじゃなくて本気で話しています。そしてそういう考え方もあるんだってという学びにもなりますね。

【藤川】 私は職人から始めましたから、人前で話すのが苦手なんです。同友会のグループ討議が初めはいやでした。参加しているうちにメモを取って考えて発言できるようになってきました。習慣になっていくと、人前でも話せるようになるんですね。鍛えられているなって思います。

【加茂】 ベテラン会員さんには当たり前のことかもしれませんが、新会員さんにとってはドキドキものですよ。【佐野】 他団体で勉強しますっていうと「あいつは何か真面目ぶって」という目で見られます。私は本当に勉強がした



有田 栄公 (筑豊地区会長)
有田電器情報システム(株)
代表取締役 (飯塚支部)



納富 輝子 (増強推進本部)
南一柳 専務取締役
(福友支部)



加茂 勝久 (コーディネーター)
フォーマックスインシュアランス(株)
代表取締役 2015年入会
(西支部)



地域経済を支えているのは中小企業 しかし、その動向のニューソースがない。 そこに同友会の存在意義があるのでは

いと思う方なんです。同友会は勉強していいんだと嬉しく思いました。そして会員の皆さんが惜しみなく教えてくれます。経営指針作成セミナーで税理士さんと出会いました。私の理念、思いの丈を理解してくださるので、経営課題が発生しても的確にアドバイスしてくれます。点が線になりました。これはご縁だと思えます。

【納富】税理士さんでも経営者同士になりますね。さらに勉強仲間だし共通言語で話せるというのはとても心強いですね。同友会では勉強になったことを自社に落とすことを「TTP」っていうんです。『つっていい・てきに・ばくる』(笑)。人からどんどんパクっていくんです。そうやっていくうちに自分のものになればそれは「オリジナル」になります。私も新卒採用を学びました。続けていくと2年目の社員が大きな成長をして一年生を教育するという流れができています。経営ってこういうことの積み重ねなんです。

【金子】言おうと思ったことを先に言われましたから、私は違った角度で。ウチの玄海支部は特に「飲み会」で仲良くなるんですよ(笑)。私は今年度、ブロック長を仰せつかっているんですが、同友会に出ない人に声かけをするようにしています。参加しない期間が長くなってしまっているだけなんです。そういう人が出てきてくれると嬉しいです。何の商売でも一緒でしょうが…。

【加茂】他団体では、ビジネスネットワークを目的としているところもあります。名刺交換してすぐさまお互いに何を買ってくれるかを話さうな。私が初めての例会に行ったときに、会歴が長い会員さんに「同友会で商売目的なら長続きしないよ」と言われました。私も「勉強が目的です」と伝えました。でも信頼関係ができてくると「ところで加茂さんはどんな仕事をしているの」って聞いてくれるんですね。やがて「加茂さんを知る会」なんてやってくれました。やっぱり周りのみなさんは見ているんですね。

【納富】同友会はそんなところです。「先義後利」って言いますよね。結果としてどうせ買うなら信頼できる仲間と取引したいと思えますよね。

【藤川】それぞれの会員さんがそれぞれの課題を持っています。どうすれば解決できるか考えて取り組んでいます。結果を聞いて「なぜそうなったんですか」と尋ねてみると、会員さんの課題を疑似体験ができて自分も考えることができます。

【有田】若い会員さんの成長スピードの速いことに驚きました。学んだことをすぐに実践している。勇気を持って実践している。そしてそれがカタチに、成果になっていきます。仕事がないから社員を増やさないのでなくて、社員を増やしたら、仕事が増えていくんです。実践が素晴らしい。もうそうなっ

ているんですから。迷っている経営者をどんどん入会させないといけない。

【加茂】福岡同友会は45歳未満の会員さんが900人いると聞きます。若い会員さんの学ぶ意欲はすごい。福岡同友会55年の歴史で素晴らしい事例があります。県・支部・ブロックの情報をリンクさせて、成功体験の事例を共有しないといけません。

でも、同友会に不満やわからないこともあるでしょ。

【加茂】次に入会しての不満やわからないところもあると思いますが…。

【井城】会員を増やすことはいいいことだと思いますが、「退会者」が多いですね。北九州ではブロックによって人数に偏りがあるのでシャッフルしたりしている人々と会えるようにしています。

【納富】「増強」の「強」の部分です。ね。ちょっと来なくなった会員さんを休眠会員と呼んでいます。知っている人がいないとか、居場所がないという人が多いです。会員訪問してみたりすることが必要ですね。新会員さんには新会員フォローアップセミナーを、ベテラン会員さんには居心地のいい場の提供を考えなければいけません。「強」については秋吉副代表理事が中心になって「メンター制度」を設ける予定です。(月刊同友9月号特集予定)

【坂本】組織についてよくわかりません。トップの人にあつたこともありませんが、ブロックとなって密になるのはいいのですが、密になりすぎるのも…。先日青年支部に行ったら移籍を促されました。何か両方に気まづくなります。

【加茂】西支部では、内輪同志で固まって新しい会員さんを放っておかないように気を使っています。「壁の花にしない」と言っています。

【井城】他支部の例会に行く結構歓迎されますよ。事務局に前もって連絡すると支部長や例会担当の役員さんに連絡してくれます。

【加茂】組織が大きくなってくると出ることが多くなってくる。会議が多い割に出席者が少ない。決定権者がいなくなったりすると何も決まらない。これはおかしいですよ。

【納富】今、「組織検討プロジェクト」というのを立ち上げて検討するようにしています。

【有田】同友会の分らないところや不満に思うことを発言していただいてもいいですが、これらを自社に落とし込んで考えたらどうでしょう。自社の社員がこういう不満を抱えていたら経営者はどうしますか。数年後にはここにいる会員さんが同友会をよりよくしているかもしれないですね(笑)。

【藤川】いい会社にしようというのが会の目的なら、融資面での支援についてスムーズにできる仕組みができないで

しょうか。可能であれば、同友会が何らかの窓口になるとか…。

【納富】会員が増えればできることがあるかも知れませんがね。同友会の経営指針書は金融機関も太鼓判とかなったらいいですね。会員の中にも金融機関とのパイプを取り持つアドバイザーがいるとか。

【天の声・高谷】実際に日本政策金融公庫や信用金庫では同友会の窓口が作られたりあります。金融体制が変化している、融資の審査が変わる事例も出始めている。その中で徐々にいい関係構築しています。

【納富】今期から、徐々に月刊同友を金融機関にも配布していきます。

【加茂】愛知同友会では、日銀の支店が同友会の景況調査に注目していると聞きます。地域経済で同友会が一目置かれていくんですね。

【納富】マスコミは大企業の動きは捉えているけれども、中小企業の動向のニューソースがない。そこに同友会の存在意義があります。会員数が増えればそれだけ発言力が増します。

【佐野】私は今までの経験からして、いわゆる「増」、誘って入会してもらおう自信はあります。「強」は自主性を引き出すということでしょうか。同友会の理念や価値観をもっと前面に出していけば必ずと会員は増えていくと思います。「強」がしっかりしていれば「増」はできると思っています。

【納富】「増」と「強」は車の両輪ですね。フォロワーの仕組みも必要だと感じました。

【金子】なぜ会社を辞めるのかということと同じように、なぜ同友会を辞めたかを反省・検証が必要なのではないでしょうか。

本日のまとめ

【有田】新しい会員さんの成長がすごい。学んで実践して、そして成果が出ている。同友会には経営者の求めているもの、解決したいものがすべてあります。社員は「ウチの会社って、いい会社だよ」と言ってくれば、地方創生して雇用は確保でき、利益がでて税金が納められる。いい循環のもとに同友会は会員さんが増えてくるでしょう。そして一つ提案があります。今日お集まりの方には早く理事になっていただきたい。私も理事になって分かったことがたくさんあります。もっと大きな観点から同友会を見ていただきたい。それが自社にも反映されます。

【納富】熱いトークに感動しています。同友会では社長と社員が「共に学び、共に育つ」それを共育ちといいます。社員と一緒にいい会社にしていくんですね。同友会で役員を受けることで自分を磨くことができます。そして高いレベルの人間力を身に付け、自社に持ち帰る。この循環で自社が更によくなっていくのではないのでしょうか。

【加茂】会員を増やすっていうことはマーケティングに近いです。55年の歴史があつて素晴らしい先輩たちがいらつしています。お菓子屋さんに例えてみますと、先輩たちはいわば職人さんです。職人さんはおいしいお菓子を作るでしょう。でも宣伝しなければ売れません。宣伝するのはより顧客に近い立場にいる新会員さんです。「このお菓子おいしいよ」ってみんなに伝えるんです。同友会に魅力を感じたからご縁があつて入会したわけですから、その魅力を伝えて仲間を増やしましょう。そして新しい会員さんだからこそ新しい時代に合った要望も出てくるでしょう。「よい会社をつくらう」「よい経営者にならう」「よい経営環境をつくらう」の3つの目的が正しいことは歴史が証明しています。「いい会社だから入った」という熱い思いで、お声掛けしていただき仲間を増やして、同友会がもっといい会に、みなさんの会社がいい会社になることを願っています。

初めて入院して 会社の将来を考えた

〜理念・方針を示し、計画は任せる〜



有限会社 珈琲豆屋
代表取締役

芹口 健二 氏
けんじ せりぐち

東支部

誰もが一度は経営してみたい「カフェ」。差別化を図りながら、あたかも機関車のごとくスタッフを牽引して来ましたが、自身初めての入院で会社の行く末を案ずるのでした。

取材 広報部 弘(東支部)
文章担当 菅原 富谷正弘(玄海支部)
写真 真

1日5回は喫茶店通い

芹口健二さんは昭和28年、熊本県の阿蘇山のふもとに生まれ育ちました。高校を卒業して九州一円に展開するスパーK屋に就職、宮崎、鹿児島、熊本そして福岡に転勤し、店長などキャリアを重ねてきました。

コーヒーが好きで、喫茶店のモーニングサービスで一日が始まり、開店後は「競合店の視察に行つてきます」という口実で出かけ、さらに夕食も含めて一日に5回は喫茶店に行つていました。もともと独立志向が強く、「30歳くらいで独立してお店を持ちたい」という野望を持っていて、市場の大きな福

岡を拠点にしようと考えていました。そして、32歳の時、熊本転勤を命ぜられたのを機に脱サラを決意したのでした。

脱サラを決意したものの

退職金をはたいて、夢の喫茶店の物件を見出しました。いざオープンの一歩手前までいったところで急に不安を覚え、電話帳で経営コンサルタントを探し、相談しました。

オープン予定の物件は2階にあったこともあり、「あなたによっぽどお客を惹きつけるものがないと、苦勞しますよ」とのアドバイスを受けました。「腕

ない、金ない、何も無い」と我に返った芹口さんは、断念せざるを得ませんでした。

夢破れて挫折感にさいなまれた芹口さんは「いつそ遊んじまえ」と、働くこともせず、毎日釣りに明け暮れるのでした。

8ヶ月したころ、いつも一緒になる釣り仲間に「ところであんた、(仕事は)何してるの?」と聞かれ、何も答えられない自分がいました。時を同じくして奥さんから「もうお米をかうお金がありません」と告げられました。「子ども3人、メシ食わせな、いかな」と、仕事モードのスイッチが入った瞬間でした。

宅配からスタート

昔取った杵柄、スパー時代の人脈



お客様の一人から、「日中はいいないので職場に来てくれませんか」と言われ訪ねた先が博多駅そばの九州経済産業局でした。1件当たりの取扱量が数倍に膨れ上がりました。機転を利かせた芹口さんはオフィス専門に切り替え、売上は右肩上がりに増えていきました。これがオフィスコーヒーの先駆けとなりました。

珈琲豆屋オープン

昭和63年、福岡市東区若宮にコーヒー豆を専門に売る店舗、その名も「珈琲豆屋」を構えました。当時はまだコーヒー豆の専門店がなく、店は大ヒットしました。夕方になると、近くの住民とは違った雰囲気のお客様が来店し

ました。これが芹口さんのアンテナに留まりました。

声を掛けてみると近くの学校の先生であることが判明し、そこで学校への配達を開始しました。先生は転勤が多く、その評判が広がり、福岡市東部エリアでファンが急増しました。

多店舗展開

福岡にも大手メーカーがオフィスコーヒーに進出し、またインターネット通販でコーヒー豆を購入する消費者も増えてきました。

危機感を感じた芹口さんは2店目の構想を練りました。「スパー時代から多店舗展開の成功のカギを握るのは2店目」と持論を展開します。東区香椎宮の表参道に物件を見つけ、その目の前に大きな木があることに気付きました。すぐに「この木、何の木、気になる木」との歌が頭をよぎり、ひらめきました。

「店名を『Nanの木』にして『Natural Agriculture Navigation (安心・安全のいいものを提供する店)』をコンセプトとしようってね。コンセプトが決まると、店づくりや品揃え、人の育成の方針がビシッと決まります」

ターゲットは40代から60代、いい商品なら買ってくれる方としました。落ち着いた雰囲気の中、お客さんが定着していきます。芹口さん自らマニュアルを超えたフレンドリーな接客を率先しています。お客様から「あなたから



有限会社 珈琲豆屋

創業 1987年
住所 福岡市東区香椎1-3-31
電話 092-672-5521
従業員数 39名(うちパート・アルバイト33名)
HP-URL <http://www.coffeemameya.com>
事業概要 コーヒー豆の製造と小売業。店頭販売の他オフィスコーヒーイベントコーヒー・カフェの運営。



ランチプレート

Nice to meet you ようこそ同友会へ



トータルリペアA・R・B
リペア業

代表 **藤井 剛**
(福友支部)

友達で悪友(笑)の機工ファタイムズの廣田さんよりご紹介いただき同友会に入会させていただきました!皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。当店は「捨てない・壊さない・取り替えない」をスローガンに大切な家のフローリング、建具、家具等の傷や愛着のあるお車の内装全般の傷、ハガレ、外装の磨き、コーティングを行っております!!お困りごとがありましたら誠実に対応いたしますのでいつでもご相談ください。

福岡県朝倉市甘木2212-38
TEL:090-9404-5394



株式会社キャッチアップ
Webを中心にシステム開発サービスを提供しています

代表取締役 **江頭 竜二**
(福友支部)

飲み友達に経営の悩みを打ち明けたところ、同友会を紹介頂き入会いたしました。弊社は、WebサイトをWebブラウザだけで更新するシステムを無償で提供しており、これまでに5万サイト近くのWebサイトで利用して頂いております。同友会では、まず、一番興味のある経営指針を作成し、これまでにやってきたことを振り返ってみたいと考えております。

福岡市中央区大名2-11-25 新栄ビル 4階
TEL:092-791-5508



NPO法人ママワーク研究所
眠るキャリア女性の就労支援事業採用コンサルティング

理事長 社会保険労務士 **田中 彩**
(福友支部)

法人化から5年。事業経営を学ぼうと参加した女性起業塾で、矢頭美世子塾長に紹介頂き、入会しました。就労へのスキル・意欲を育成するスクール事業を核に、眠るキャリア女性と企業経営者との出会いの場を創出しています。ママ・ドラフト会議®、ママ・ボランティア育成®講座で眠る315万人(福岡4.3万人)を再活躍につなげます。

福岡市中央区西公園1-9
TEL:092-732-7663

おすすめ
RECOMMEND BOOK
書籍のご案内

『人を生かす経営』改訂版を発行

中同協はこのほど「人を生かす経営～中小企業における労使関係の見解」の全面改訂版を発行しました。

「労使見解」は1975年に発表され、①経営者の経営姿勢の確立こそ社員との信頼関係を築く出発点であること、②経営指針の成文化と全社実践の重要性、③社員を最も信頼できるパートナーとして共に育つ教育を呼び掛けており、中小企業経営のバイブルとして会員座右の書となっています。困難に直面した時に経営姿勢を振り返る羅針盤として、時代を超え読み継がれてきました。

新たに3名の経営者による「人を生かす経営全国交流会・パネルディスカッション」も掲載されています。

お求め、お問合せは、福岡同友会事務局にお願いいたします。



企画・発行:中小企業家同友会全国協議会
頒価:500円 A5判60ページ

スタッフ自身が計画し、会社を盛り上げていく。そのための経営指針が重要

「ウチの場合は理念・方針はありませんが、計画(売上計画・行動計画)がなかったんです。意識の高いパートさんばかりですから、私のトップダウンで表裏されました」

同友会の学びに倣って、経営指針書を作成しました。口で言うだけではなく、成文化の重要性は痛感しています。パート職員の採用の際はそれにのっとり社長への考えを伝えていきます。

同友会との出会い

「ウチの同友会歴は20年になります。(※5月に開催された第55回定期総会で表彰されました)」

平成18年には4キロ離れた東区名子に「ガーデンカフェ Nanの木」を開店し、平成26年には福岡女子大学構内にも出店しました。また、久山に焙煎工場を作り、月1回の工場直売は渋滞が発生するほどの盛況です。そして本店に隣接させてパン工房を開業しました。

迫りくる外的要因

大手コーヒーチェーンS社が福岡に店舗展開をしています。芹口さんはこのことについてこう分析しています。

「このチェーン店によって福岡の人の嗜好が濃いコーヒーに変わっていきました。これは私たちが先んじてやってきたことで、我々にはチャンスです」

「どうやらなさいと言えはうまいっでいました」

店舗が増えるにつれてスタッフ構成も変えていくようになりました。芹口さんの娘さんが結婚退社し、パートさんから1名を正社員に昇格させました。そして、新たに男性社員を採用し、彼らには「ガーデンカフェ Nanの木」の運営を任せました。しかし任せた途端、売上が急落してしまいました。

そこで、初めて会社のP/Lを見せ、原因を分析していききました。すると男性社員は俄然やる気を見せ、計画を立て、売上が回復していききました。芹口さんは売上計画や行動計画の重要性を実感し、担当者に任せることになりました。

ハプニング発生!

平成29年1月のとある夕方、芹口さんは自転車で転倒してしまいました。そして、初めて1週間もの入院をしました。

「ベッドに横たわり、ふと考えました。今まで機関車のように働いてスタッフを引っ張ってきた。でも、もしこの先私が動けないようなことが起きたらウチの店はどうなるんだろう、って」



店内には様々な名前がついたコーヒーが売られています

芹口さんの考える自立型企業にもその影響が出ています。

「自立型企業とは、経営者が方向性を示し、行動計画・売上計画をスタッフが考えて会社を盛り上げていく会社ですね。ウチの理念・方針を受け継いでくれる人にこの会社を任せようと考えています。私もそれまでまた重荷を背負ったなと思います。また勉強ですよ」と笑顔で締められました。取材協力ありがとうございます。

1 土 9:30～18:00 **筑豊地区あすなろ塾 (筑豊会場)**

■筑豊ハイツ 飯塚市仁保8-30 ☎0948-82-0240
「あすなろ塾」は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日セミナーです。当日は、経営指針の全体像を理解し、経営理念の作成を目標に参加していただきます。

4 火 18:30～21:00 **田川支部 7月例会**

経営指針書の重要性を全員で理解しよう!
～8月25日から始まる経営指針書作成セミナーに全員で参加する!!～
■たがわ情報センター 田川市番田町2-1 ☎0947-49-3220
■林田 浩嶋 氏 合資会社若竹屋造場 社長 りょうちく支部
田川支部では会員全員に経営指針書を持ってもらうことを目標としています。そこで7月例会では、報告者の林田氏の経験から経営指針書を作成した前と後ではどのように会社が変わったか話していただき、経営指針書の重要性・必要性を会員全員で学びます。

15 土 9:30～18:00 **福岡地区 あすなろ塾**

■福岡県中小企業振興センター301B会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011
「あすなろ塾」は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日セミナーです。当日は、経営指針の全体像を理解し、経営理念の作成を目標に参加していただきます。

18 火 18:30～21:00 **博多支部 7月例会**

危機管理 ～失敗のストーリーからの学び～
■共創館カンファレンス 中会議室B 福岡市中央区渡辺通2-1-82
■久保田一郎 氏 株式会社ライズ 代表取締役 博多支部
「前職で倒産するまでの間、経営者のすぐ側で営業面・資金面・社内調整と奔走した経験を持つ久保田氏。失敗のストーリーからの学びを「危機管理」という視点から報告して頂きます。」

18 火 18:30～21:00 **玄海支部 7月例会**

これでラクになる!社員と取り組む目標達成術
～コミュニケーションツールとしての人事評価制度～
■天神ビル11階11号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
■川崎 修平 氏 株式会社グッドカンパニー 代表取締役
人事評価制度の目的や組織運営にあたっての人事評価制度運用のポイントを学びます。

18 火 18:30～21:00 **北九州支部 7月例会**

同友会を活かして、ガッチリ稼ごう!!
～更なる仕事創出と販路拡大をめざして～
■コムシティ大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
■糸川 郁己 氏 公益財団法人九州ヒューマンメディア創造センター
今回の例会では、上記を組織として支援活動をされている(公財)九州ヒューマンメディア創造センターの糸川氏をお招きし、課題解決のため考え方、新規事業創出や販路拡大支援の実例を報告いただきます。

18 火 15:30集合 **ひびき支部 納涼会(7月例会振替)**

■ヤフオクドーム

18 火 18:30～21:00 **国際交流委員会 7月勉強会**

■エヌビーエス(株)会議室(予定)
福岡市博多区奈良屋町5-10 ☎092-263-8833
■鹿島 克介 氏(予定) 株式会社カシマ製作所 代表取締役 のおがた支部

7月の

18 火 18:30～21:00 **有明支部 7月例会**

企業づくり
■竹下産業(株)会議室 柳川市本町68-4 ☎0944-73-7111
■小野賢太郎 氏 株式会社東洋硬化 代表取締役社長 久留米支部
創造と変革をし続ける企業づくり、社員がいきいきと働ける企業づくり、お客様と地域に必要とされる企業づくり、総合力の高い強固な基盤を持つ企業づくりについて学びます。

19 水 18:00～21:00 **東支部 7月例会**

金融庁も認める! 同友会理念!
～限らない成長を目指す経営者団体 同友会の魅力に迫る～
■ウィズ・ザ・スタイル 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
■中島 克海 氏 株式会社グッド・サポート 代表取締役 福友支部
倒産の危機に直面したが、「あすなろ塾」[2泊3日セミナー]へ参加し、規模を拡大した中島氏。改めて同友会理念を学んでいった結果、金融庁からヒアリングを受ける。3つある同友会理念のうち「同友会三つの目的」について報告していただきます。

19 水 18:30～21:00 **のおがた支部 7月例会**

売上アップに挑戦 ～N-bizの役割とその活用法～
■直方市中央公民館 直方市津田町7-20 ☎0949-25-2241
■岡田 高幸 氏 直轄ビジネス支援センターN-biz センター長
直方中小企業振興条例のアクションプランに基づいて、2017年3月22日に設立された「直轄ビジネス支援センターN-biz」。直轄地域でがんばる中小企業や商店、個人事業主を「より稼ぐ会社」「より儲かる商店」「より繁盛する事業者」に変わるまで支える相談窓口として、売上以外の「起業・創業」や「経営一般」、「商品開発」、「販路開拓」、「事業承継」などの相談も受ける窓口について、その内容や活用法をセンター長より説明いただきます。

19 水 18:30～21:00 **ソーシャルビジネス委員会 7月例会**

街がにぎわう小さな仕掛け～商店街の今とこれからを考える～
■タツミヤビル2F 大牟田市本町1-2-13
■須部 貴之 氏 有限会社すべ産業 / のきさき市@鹿児島騎射場プロジェクト 代表
街の衰退の象徴とされる、シャッター商店街。そんな商店街には、人口減少、少子高齢化、空き家の増加、街の空洞化など、地方都市がかかえる様々な社会的課題が浮き彫りになっています。しかし、視点を変え、切り口を変え、手法を変えることで再生している商店街もあります。そこにはたくさんのヒントがあります。

20 木 18:20～20:50 **筑紫支部 7月例会**

変化に対応する経営とは
■筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
■塘之口 守 氏 株式会社駿河コーポレーション 代表取締役 筑紫支部
経営環境の変化に気付き、経営者自らが変わるために必要な資質について学びます。朝令暮改と思われるやり方でも環境の変化に対応するために必要な場合があります。自身の経営環境を見つめ、変化に対応する能力を磨く良い機会になりますので是非ご参加ください。

20 木 18:30～21:00 **福友支部 7月例会**

経営者の在り方で組織は変わる
～こんなに違う!! トップダウン型とサポーター型の組織力～
■WITH THE STYLE 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3941
■吉開ひとみ 氏 宮田織物株式会社 代表取締役 福友支部
全社一丸となって同じ方向をめざす中小企業の組織づくりにおいて、経営者の在り方が組織に影響を与え、会社の成長にもつながります。本例会では、よい社風と成果を出すための組織力を高める経営について学びます。

行事案内

20 木 18:30～21:00 **中央支部 7月例会**

「人材不足」は怖くない!新しい時代の「人の活かし方」
～今だからこそできる、働き方改革の実践～
■天神ビル 福岡市中央区天神2-12-1 11階 ☎0120-323-920
■福本 健太 氏 クラウドティアジャパン株式会社 取締役 中央支部
「日本No.1のクラウドサービス提供会社を創る」という理念のもと、現在まで売上高成長率100%以上を維持しつつ、CSRにも配慮した活動を実践しています。自社の成長とCSRの両立のために、これらの活動を支える従業員の状態に応じた雇用形態について報告を行います。

20 木 18:30～21:00 **西支部 7月例会**

■福岡ビル 福岡県福岡市中央区天神1-11-17 ☎092-716-8021
■松尾 勲 氏 株式会社平尾自動車工場 代表取締役 西支部

20 木 19:00～21:00 **青年支部 7月例会**

まずは経営をたのしむ! ～悩みからうまれた逆転の発想～
■IP CITYホテル 福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-2009
■古賀 政行 氏 Next Stage 代表者 青年支部
報告者は中小企業経営者向けの貸金業を9年経験。その後心理カウンセラーの資格を取得。医師のキャリアカウンセリング・コンサルタンの仕事に就き、4年前に独立をしました。プライベートの時間を削ってきた仕事の仕方を直してきた経験から、独自の発想と失敗・成功の体験を赤裸々にお伝えします。

20 木 18:30～21:00 **りょうちく支部 7月例会**

競争から抜け出すための『実践ブランディング』
■吉井町公民館 うきは市吉井町983-1 ☎0943-75-5612
■松永 幸子 氏 (福岡県よろず支援拠点コーディネーター) ハロー 代表者 福友支部
ブランディングを学ぶことで、選ばれる会社となり、同業他社との競争からの脱却をめざします。ブランディングは一朝一夕ではできないので、早くやり始めるに欲しいと思います。内容は、①ブランディングとは?その目的と得られるモノ②ブランディングとマーケティングのちがいを③お客様視点での自社の価値とは?④ブランディングの表現方法とツール⑤魅力が高まる戦略 など

20 木 18:30～21:00 **飯塚支部 7月例会**

顧客密着型企業を目指して
～同友会役員9年での学びと自社の魅力と今後の展望～
■ハドゥル・コトプキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
■須尧 正彦 氏 株式会社液化ガス 代表取締役 飯塚支部
同友会の学びは、自社で実践しその経験を同友会にフィードバックするからこそ深い学びが得られます。須尧氏は同友会に入会し10年、役員としては9年、この間に様々な出会いや気づき、学びがありました。中々自社で活かすことができませんでした。そんな思いを昇華させるため、2泊3日経営指針書作成セミナーに参加。これから進むべき自社の方向性、仕事のスタンスなどを深く考えることができました。そして、お客様の生活に寄り添った経営を目指すべく、完成した指針書を社員の皆さんに発表することを決意しました。

20 木 18:30～21:00 **糸島支部 7月例会**

楽しい職場環境をつくり社員の生きがいを提供する
■持田邸 糸島市志摩芥屋1022-1 ☎092-328-0598
■納富 輝子 氏 有限会社一柳 専務取締役 福友支部
例会終了後、懇親会を職の屋にて行います。(懇親会参加費4,000円)

20 木 18:00～20:30 **福岡支部 7月例会**

■AN WEDDING WITH 福岡市博多区中洲3-7-24 gate's 11F ☎092-283-0720
■鹿島 譲二 氏 株式会社ディー・エムサービス 取締役 福岡支部

21 金 19:00～21:00 **かすや支部 7月例会**

■ヒストロCOCK 鶏屋 糟屋郡志免町別府北1-12-1 ☎092-612-2121

21 金 18:30～21:00 **久留米支部 7月例会**

事業承継における雇用の維持及び採用について
■久留米シティプラザ中会議室 久留米市六ツ門町8-1 ☎0942-36-3082
■平尾 繁登 氏 株式会社島鉄工所 代表取締役 久留米支部
会社経営における事業承継について学びます。特に親族間で継承された体験を基に事業承継について考察していきます。

22 土 9:00～17:30 (8:45受付) **県南地区あすなろ塾 (りょうちく会場)**

■うきは市生涯学習センター うきは市吉井町983-1 ☎0943-75-3343
「あすなろ塾」は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日セミナーです。当日は、経営指針の全体像を理解し、経営理念の作成を目標に参加していただきます。

22 土 16:00～ **大牟田支部 7月例会**

第56回大牟田夏祭り 一万人の総踊り「栄冠は我が手に!II」
■第一カンカンビル屋上集合 大牟田市本町2-7-13
7月例会は大牟田夏まつり「一万人の総踊り」への参加を行い、同友会の地域振興と伝統に見習う「よい経営環境」づくりに加え、組織一丸となり目標達成する取組みを学びます。

25 火 18:30～21:00 **南支部 7月例会**

なるほど!ザ・経営 ～あなたの覚悟にコミットメント!!!～
■天神ビル 11F 11号会議室 福岡市中央区天神2-12-11 ☎0120-323-920
■北原 正 氏 社会保険労務士法人 COMMITMENT 代表社員 南支部
あなたの経営はどこに向かっていきますか?同友会の活用のポイントを学ぶことで、自社経営の成長につなげる為の勉強会です。報告者に、社会保険労務士法人コミットメント代表社員の北原正さん(前支部長)を迎え、同友会入会から各役員を経て支部長までの学びを、どのように活用したのか?会社が変わったのか?どのようなタイミングで、自分自身の経営者としての覚悟が変わったのか。成功談、失敗談を交えながら話していただきます。経営者の為の勉強会で、一緒に学びましょう。

25 火 18:30～21:00 **国際交流委員会 7月勉強会**

カシマ製作所の海外事業への挑戦
■エヌビーエス(株)会議室 福岡市博多区奈良屋町5-10 ☎092-263-8833
■鹿島 克介 氏 株式会社カシマ製作所 代表取締役 のおがた支部
鹿島さんはミャンマー視察をきっかけに海外事業の研究を始めたものの、資金不足・法律・商習慣の違い・言語への対応などの問題により、現在まで商談成立には至っていません。中小企業に海外進出は難しい選択なのか?自社にとって進出対象国としてミャンマーは適切か?これまでの経験と取り組みから考察した海外事業のビジネスモデルについての報告です。

27 木 18:00～21:00 **第139回新会員フォローアップセミナー**

■福岡同友会事務局 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234

28 金 16:00～18:00 **女性部委員会 7月例会**

企業訪問例会
■(株)きくち 太宰府市幸府2-7-28 ☎092-923-3792
■菊地 裕子 氏 株式会社きくち 代表取締役 福友支部

お問い合わせの方を誘って、是非ご参加ください。お申し込み、お問合せは、e.doyu もしくは、同友会事務局までお願いします。

2017年度 臨時理事会報告 (一部抜粋)

日時 2017年5月9日(火) 16時55分～17時00分 出席 52名(出席率81.3%)
 会場 ANAクラウンプラザホテル福岡 2階シャンパーニュ 議長 高谷 幸一(理事)

協議・審議事項

1. 役員を選任

(1) 代表理事

役員選考委員長より、代表理事の選考について下記の3名の提案があった。

- ・田浦 通氏
- ・樋口 康治氏
- ・新内 一秋氏

審議の結果、承認された。

(2) 副代表理事

役員選考委員長より、副代表理事の選考について下記の5名の提案があった。

- ・貞池 龍彦氏
- ・坂本 敏弘氏
- ・光本智恵子氏
- ・納富 輝子氏
- ・秋吉 博文氏

審議の結果、承認された。

(3) 専務理事

役員選考委員長より、専務理事の選考について下記の1名の提案があった。

- ・川畑 義行氏

審議の結果、承認された。

2017年度 第1回理事会議事録 (一部抜粋)

日時 2017年5月24日(水) 14時30分～17時40分 出席 46名(出席率71.9%)
 会場 福岡県中小企業振興センター202会議室 議長 貞池 龍彦(副代表理事)

報告事項

1. 第55回定期総会のまとめ

① 総会議案審議に関して

総会議事録を確認した。
 ・支部および地区の「総会」という名称について、今後再検討する旨報告された。

② 参加状況について

参加状況を確認した。記念講演161名。総会出席166名、委任915名。来賓30名。

③ 経営、運営に関して

ここ3年間、福岡で開催してきたため、福岡以外の地区の開催を検討し、来月以降の理事会に提案することとした。

2. 2017年度の運動推進のために

① 2200名達成のために

- ・年度末の必達目標2200名に向けて取り組んでいくことを再度確認した。
- ・5/31(水)の増強研修会に増強担当者をはじめ、各支部から3名は参加するよう呼びかけがあった。

3. 会員企業の動きなど

「見る資料」にて紹介。4/18～5/19の間に会員企業12社(のべ16社)が新聞に掲載された。

理事会報告全文は、e.doyuの文書管理(理事会報告-2017年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。

同友すばる委員会

事業承継塾第2講

事業承継のポイント

開催日時 **8月19日(土) 14:00～17:00**

会場 **電気ビル共創館3F**
 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル本店隣
 TEL:092-714-5743

釜堀 隆司 氏 釜堀税理士事務所 税理士(かすや支部)

昨今中小企業において、「事業承継」は大きな課題として取り上げられています。社長の「心意気」を伝え、企業の存在意義を受け継ぐことができるか。今後中小企業が生き残るために、事業承継を学ぶことは大きな意義があります。(受講料:2,000円)



樹脂版

仮印刷風景



仮印刷装置

私どもは、段ボール印刷や紙袋印刷といったフレキソ方式の印刷で用いられる樹脂製の凸版(フレキソ印刷版)を製造する会社で、パッケージデザインから樹脂版の製造までを行います。福岡本社と熊本で29名、吉林省長春市に契約スタッフ2名の31名の組織で、九州では最大規模の生産能力と設備を有します。業界でもいち早くISO9001の認証を取得し、品質管理のみならず、経営管理ツールとして活用、絶え間ない改善を継続し、効率的なワークフローを構築しています。

例えば段ボール印刷を例にとれば、印刷機も高速かつ高精度となり、高速機では毎分350枚前後で印刷され、樹脂版版の高い再現精度が求められます。そもそも樹脂版版には±0.05mm～±0.06mmの厚みムラが存在し、柔軟な材質であるが

絶え間ない作業見直しと効率化
 高品質化を目指した積極的な設備投資
 九州初の高精度校正装置(仮印刷装置)の導入で品質管理を徹底

ゆえ、樹脂版の状態により「予定した印刷結果」と「実際の印刷結果」に差が生じることがあります。印刷してみないとわからない現象が発生しうるのです。しかしながら、一般的に私どものような製版会社では印刷結果まで検証する術がありません。そこで、当社では高精度校正装置(仮印刷装置)を導入し、九州で初めて印刷結果シミュレーションを実現する品質管理を確立しました。

他には、完全自社設計、自社製作した受注・工程管理データベース「KTSYSTEM」を活用して自社の作業工程とお客のご要望に完全に一致したシステムを実現し、お客様からの管理要望や社内のご要望に応じてタイムリーにシステム改定を繰り返しながら、他社に追いつかない作業効率化が当社の強みです。



福岡県小郡市福童150-1 http://e-daikoh.com
 TEL 0942-72-1748 FAX 0942-73-0197
 ISO9001:2015 認証取得工場(福岡本社)

企業理念

会社の繁栄と社員家族の繁栄が一致する会社となる。

わが社のイノベーション



九州初 高精度仮印刷装置で品質管理
 株式会社ダイコー(1973年設立)。段ボールや紙袋、重包装袋への印刷で使用されるフレキソ版(樹脂凸版)を製造するフレキソ製版業。パッケージデザイン及びフレキソ樹脂版を提供。
 福友支部
寺尾 康輔 氏
 Terao Kousuke



「素材で感じるイスの世界 歴史にすわる」展
九州産業大学美術館

フォト散歩『香椎の街』

45年前に香椎にある、九産大の芸術学部に通学していた懐かしい街です。当時は九産大前駅がなく、国鉄香椎駅から歩いて通っていたものです。現在駅前には区画整理で再開発中です。

あまり知られてはいませんが、九産大には、美術館があり、色々な作品展が開催されています。訪問時に「素材で感じるイスの世界 歴史にすわる」展が開催されていました。静かな時を愉しむことができました。

また学内には柿右衛門様式窯があり、芸学の学生の実習に使われているそうです。学内は開放されており散歩を愉しまれたらどうでしょう。懐かしさと、変化する街のフォト散歩でした。

(株)ココスイメージ 富谷 正弘(玄海支部)



香椎駅



区画整理事業の看板



九州産業大学美術館



美術館内の看板



館内の展示



柿右衛門様式窯の看板と外観



実際に展示品のイスに座れる展覧会

福岡女子大のドイツ人の先生



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター
〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索